

穂の国 34.通信

お客様の夢を希望へ、
希望を製品へ、そして進化へ

あいさつ
会社の歳時記
技術の時間
ちょっとコーヒータイム

Vol.11

(有)今泉大伸



〒441-3131
愛知県豊橋市大岩町字小山塚62-28
:0532-41-8282
FAX:0532-41-8297
E-mail info@imaizumidaishin.co.jp
http://www.imaizumidaishin.co.jp

七月に入り、とても暑い日が続いて
おります。

自動車の生産の落ち込みも日増しに
よくなっている気配ですね。

当社も気を引き締め、自分たちの持
てるものを全てだそうと考えております。

あいさつ



このたびの東北地方太平洋沖地震災害により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

そう考えてみれば、日常をそのまま生活させて頂けるという事はとても幸せな事なのだとすることを、私たちは日々の当たり前の中で、ついつい忘れてしまうのかもしれないね。

暑い中ですが、皆さんがんばりましょ
う。今月のニュースレターをお楽しみく
ださい。

今の時代いろいろなことにチャレンジ
することが必要だと思うのですが、なか
なか自分のことだけを考えると、忙し
かったり怠けたなと思ったりで、自分
との戦いが本当に多いです。

六月は梅雨の影響もあり、夏に向け
て体が移行するまでの期間に、少々体
調が付いて行けなかったりもしましたが、
ここにきて体のリズムが追いついたので
しょうか、調子も良くなりました。

これで、7月・8月・9月と乗り越えて
いけそうな気配です。

ニュースの報道で、被災地の生活ぶ
りを拝見しております。

過酷以外のなにものでもないと思
います。

暑い体育館のなかで、一日中生活
するわけですから...



会社の歳時記

最近、当社ではシリンダー単体のご注文もさることながら、油圧シリンダー、油圧ポンプ、圧力計測システムなどの複合的なものが増えてきております。

油圧シリンダーは、高圧200Mpa圧縮シリンダーなど高圧の部類でのご注文が、油圧ユニットは21Mpa可変油圧ポンプ(100V)仕様や7Mpa車載用油圧ユニットおよび制御回路などを、圧力計測システムでは、24時間圧力計測システム、最低2チャンネルなど。

現在、いろいろなことに取り組んでおります。

先日もトヨタのプレス技術部よりお話がございまして、200Mpa圧縮シリンダー水圧プレス用の水圧シリンダーを製作してください、とのことでした(下写真)。



発注を受けて、設計・製作に2週間ぐらいでしょうか。

そのとき思ったのですが、当社の一番の強みは、それは、やはり内製化だと思っております。



先日も社長と、ハプレス(製造の外注化)の話を行いました。

できるなら、「その方が効率がいいよね。営業と設計に専念できるし(よい面)。しかし、固定客が必要ですよ。人材を集めどんなことにでも対応できるようにするために、固定費が心配(悪い面)。」そんなことを、話しました。

一概に、どれが悪い良いの判断はできません。

しかし、それぞれの企業で特色があるものだと思うのです。

そのなかで、自分の強みを十分知り、自分の弱みを理解することでいろいろなことに対応できるのではないかと思います。

また、自分の強みを知ることによって自信ができ、弱みを知ることによってまだまだと謙虚になる。

そのバランスが大切なのかも、そのように最近思います。

次回から数回にわたり、CADや3DCADや機械や切削や油圧など多義にわたる勉強をするために、役に立つ本を紹介したいと思います。

まず、今回は前段階として、なぜこのようなことを思ったかを説明します。

先日のことですが、豊橋科学技術大学の図書館に行っていました。

図書館には古い本がずらりと並び、見ていて機械系は古い本が多く、情報ソフトはどれも新しい本が多いのです。

それは、時代が情報化社会になり、perlやhtmlなどホームページ用の言語やVHDLやC言語組み込み機器用言語や、高度なところではMATLABSUMILINKやSpiceなど情報化社会に対応するように整備されているのです。

だから、情報系は新しい本が多いのです。

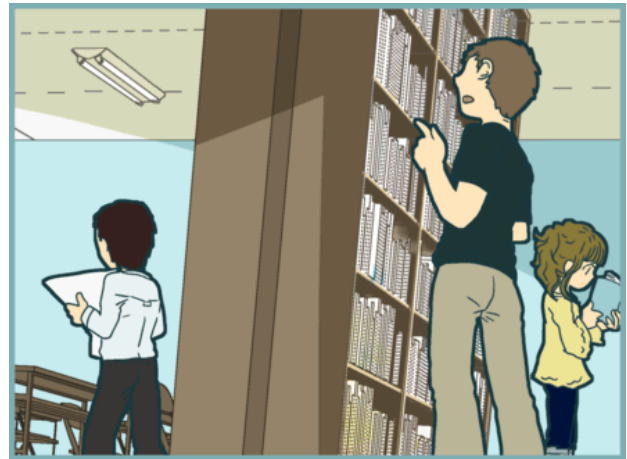
しかし、機械はどうでしょう？

組み付けの職人がいたり、加工では加工の職人がいたりして、結局は経験が発揮される場所なのです。

私が思うに、半分、今の子はかわいそうだと思うのです。

コンピューターで全てではできないのです。なのに、良い本が見つからない。

また、職人にも辛い点があるのです。



組織化のできている会社の場合は、生産して稼ぐことと教える人が別でも、周りが埋めてくれる場合が多いのですが、中には中枢でバリバリやらなくてはいけない人が教育も受けもつ場合もあるのです。

そんな場合は、生産は下がる、売り上げは下がる、社長からは売り上げを言われる、教育に手間ははかかる…。そのような負のスパイラルに陥りがちです。

だからこそ、勉強を若い方にはしていただきたいのです。

そうすることで、単純なことは本で勉強、わからないことは聞くと言うことにすれば、教える人も教える喜びが湧くのではないのでしょうか。

少し話は戻しまして、現在技術を習得できる本が少なくなっています。

電気に依存するものが多く、基礎のまた基礎は本当に少ないです。

私自身は、切削は汎用機の時から、電気はシーケンサー(プログラムコントローラー)の前から、電子はPLDまたはFPGAの前からと変革期を経験したものです。

変革期だから、単純なことも勉強できたし、それなりの本もありました。

だから、次回から内容別で良い本を紹介したいと思います。

今回は前置きということで、次回号からどうぞ期待ください(^-^*)/



ちょっと コーヒータイム



とうとう夏休みにはいりましたね。今回のちょっとコーヒータイムはその夏休みです。

夏休み最初の休日、家族サービスということで田舎に泊まって参りました。

前々回5月号のニュースレターの、ちょっとコーヒータイムでお伝えした、豊根村の友達のところへ今回もです。

泊まったところは、上の写真のような田舎の家です。

そこがもうほんとうに涼しいんですよ。驚いたことに夜は布団をかぶらないと寝られないんですから！なんと夜は12 でした。

ニュースで東京の人が、涼を求めて高尾山に行くという報道がなされていましたが、なるほど納得です。

日中でも23 でしたので本当に過ごしやすいです。帰り下界に降りてくると、気温はなんと29 。この温度差からしても、いかに気温が違うかわかりでしょう？

節電の夏、今回は本当にいい体験でした。



行なったことはというと、虫取り・蟬の抜け殻とり(ひぐらし)・流しそーめん・BBQ 等々、普段なかなかできないことです。子供には良かったようです。

街路灯に傘をつるしていますが、なにをしているのかわかりますか？実は、カブトムシやクワガタムシを捕まえる仕掛けなのです。

ノコギリクワガター一匹とクワガタムシの雌一匹を捕まえました。



宿題に追われている子供たちも、良い体験になったかな。

ちょっと残念でしたのは、曇っていたので星空の観察ができなかったことです。

最初は天体望遠鏡を準備ができなかった事に後悔していたのですが、今回はそれで良かったのかな？

8月末にもう一度キャンプの予定なので、その時こそは晴れるとよいなーと思っています。

